

都市再生整備計画(第1回変更)

こうえんにしえきしゅうへんちく
公園西駅周辺地区

あいちながくて
愛知県 長久手市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	ながくてし 長久手市	地区名	こうまんにしほまきしほへつぐ 公園西駅周辺地区	面積	21 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				

目標

- 大目標 : リニモ駅を中心とした地球にやさしい低炭素なまちづくり
 目標1 交通結節点機能の強化を図り、エコな行動が実践できるまちの実現
 目標2 潤いと憩いが共存し、身近にエコが実感できるまちの実現

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は名古屋市東部に隣接したベッドタウンとして発展してきており、特に名古屋市に隣接する市西部の市街地は、土地区画整理事業を主体として基盤整備が行われ、住宅地が形成されてきた。
- 人口動向については、全国的に人口減少傾向が進む昨今、本市においては順調な伸びをみせており、今後もその傾向は継続すると予測されている。
- 本市の中央部を東西に横断する東部丘陵線(通称「リニモ」)は、愛・地球博の開催を契機に開通した鉄道路線であり、愛・地球博から約10年が経過した今もなお、本市の機軸となる移動手段として重要な役割を担っている。このことから、本地区を含むリニモ駅周辺においては、平成24年度からの5か年で都市再生整備計画事業を実施しており、土地区画整理事業などを中心に新たなまちづくりを進めてきた。
- 本地区については、リニモ駅周辺における集約型まちづくりのひとつとして、本市において初の飛び市街地となる土地区画整理事業を実施している(コンパクトシティ+ネットワークの実現)。
- 土地区画整理事業の実施にあたっては、環境万博である『愛・地球博』の開催された緑豊かな愛・地球博記念公園に隣接すること、地区内にリニモ駅が立地するといった本地区の持つポテンシャルを活かして、本市の様々な地区における環境配慮型まちづくりのモデルとして位置付け、「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づく低炭素まちづくり計画を策定し、環境配慮型のまちづくりを推進することとしている。
- 環境配慮型まちづくりにおいては、今後、面整備による新たな交通需要の高まりが想定されることから、公共交通機関の利用促進に寄与できるよう、駅周辺施設等における結節点機能の強化が求められている。また、緑と水にあふれる空間の創出や環境負荷の少ない住宅地の形成など、環境にやさしい取組みの推進が求められている。

課題

- 集客施設や住宅が立地し、多くの人々が行き交う駅周辺において、環境にやさしい交通行動の促進に向けた交通結節点機能の強化が必要である。
- 土地区画整理事業による面的整備を進めるなかで、地域に求められる緑豊かで環境にやさしい空間が創造できるよう、環境配慮型まちづくりの推進に向けた基盤づくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 第5次長久手市総合計画のビジョン
 - ・「リニモでにぎわい交流するまち」を基本方針として掲げ、地域特性を生かした市街地を形成することとしている。また、基本計画では公園西駅周辺地区においても住宅地などの新たな市街地整備を進める地区として位置づけられている。
- 長久手未来まちづくりビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
 - ・「地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる」として、人が集まり情報発信の受発信が行われる交流の場の創造が位置づけられているほか、「地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる」として、市民が支え合うコミュニティをつくと位置づけられている。
- 都市計画マスタープランのビジョン
 - ・公園西駅周辺について、リニモ利用者や地域住民等が利用する生活利便機能の立地を進める生活交流拠点に位置づけている。
- 第3次長久手市環境基本計画及び公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本計画(低炭素まちづくり計画)
 - ・環境目標の1つである「地球にやさしい低炭素社会の構築」における重点プロジェクトの1つとして、「リニモ沿線におけるモデル的な低炭素都市づくりの促進」が位置づけられている。
 - ・また公園西駅周辺地区においては、国土交通省の定める低炭素まちづくり計画を策定しており、市内でも先進的な環境に配慮したまちづくりを進めていくこととしている。
- リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020
 - ・重点戦略の中において、「集約型まちづくりと自然環境の保全」、「地域づくり活動の活性化」、「観光やイベントによる交流の推進」の3つが位置づけられている。
- 長久手市地域公共交通網形成計画
 - ・基本方針において、「人々の生活を支える交通移動を提供し続ける」、「みんなで意識して、環境にやさしい公共交通利用を進める」ことが位置づけられており、それに基づき、「交通結節点、乗継拠点の整備」や「バス停の待合環境整備」等の計画事業が位置付けられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
リニモ駅利用者	人/年	公園西駅の利用者数	リニモ駅周辺における集客施設の整備や交通結節点機能の向上により、リニモ利用者数の増加を図る。	405,000	平成26年度	466,000	平成33年度
計画区域内の人口	人	対象地区内における人口	利便性の高い駅周辺地域において、多様な都市機能の強化を図ることに より、人口の増加を図る	25	平成28年度	233	平成33年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 交通結節点機能の強化を図り、エコな行動が実践できるまちの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい交通行動の促進に向け、駅周辺における利便施設を整備し、交通結節点機能の強化を図る。 ・自ら環境にやさしい交通行動を選択できるよう、駅までの動線となる道路空間において道路附帯施設を整備し、移動の安全性・快適性強化を図る。 	<p>■基幹事業 【高質空間形成施設】 公園西駅周辺地区緑化施設、環境配慮型整備(舗装整備)事業 公園西駅周辺地区駅前広場バスシェルター</p> <p>○関連事業 【土地区画整理事業】 公園西駅周辺地区、N/バスルート再編事業 【公園西駅周辺】 公園西駅駐輪場整備事業 【公園西駅周辺】 幹線道路景観連続照明設置((都)公園西駅南通り線)</p>
<p>整備方針2: 潤いと憩いが共存し、身近にエコが実感できるまちの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑と水にあふれる空間創出の一環として、潤いと憩いが共存する空間である公園等の公共施設整備を行う。 ・道路空間における気温上昇抑制や消費電力削減、景観性の向上を図る施設整備を行い、住民や来街者がエコを実感できる空間形成を図る。 	<p>■基幹事業 【公園】 公園西駅周辺地区1号公園、公園西駅周辺地区2号公園 【高質空間形成施設】 環境配慮型整備(舗装整備)事業、公園西駅周辺地区緑化施設</p> <p>■提案事業 【地域創造支援事業】 香流川河川改修事業</p> <p>○関連事業 【土地区画整理事業】 公園西駅周辺地区、N/バスルート再編事業 【公園西駅周辺】 幹線道路景観連続照明設置((都)公園西駅南通り線)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

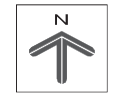
公園西駅周辺地区(愛知県長久手市)

面積

21 ha

区域

神門前、堂脇、広田、石場、鯉ヶ廻間、丸山の全部又は一部



公園西駅周辺地区(愛知県長久手市) 整備方針概要図

目標	リニモ駅を中心とした地球にやさしい低炭素なまちづくり	代表的な指標	リニモ駅利用者(人/年)	405,000	(平成26年度)	→	466,000	(平成33年度)
			計画区域内の人口(人)	25	(平成28年度)	→	233	(平成33年度)

